

参考文書 E

APEC 女性と経済フォーラム議長への書簡

2021年8月3日

APEC 女性と経済フォーラム議長
ニュージーランド 女性担当大臣
Hon. Jan Tinetti 閣下

拝啓

われわれ APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC : APEC Business Advisory Council) の委員は、女性のエンパワーメントに関する提言を謹んで提出いたします。女性のエンパワーメントの必要性はかつてなく高まっています。現下のコロナ禍はあらゆる層の女性に過大な影響を与えており、すでに存在していた男女格差を背景に、とりわけ惨憺たる状況が生まれています。われわれ ABAC の 2021 年のテーマ「人、場所、繁栄 (英語 : People, Place and Prosperity、マオリ語 : Tāngata, Taiao me te Taurikura)」は、アジア太平洋地域に暮らす人々のニーズと利益がわれわれのすべての行動の中心でなければならないことを強調しています。女性の活躍を促し、その地位を高めることは、こうしたコミットメントの中核に位置付けられます。

これは喫緊の課題です。パンデミック以前は、男女平等が改善すれば、2030 年までに世界の GDP が 13 兆米ドル押し上げられると試算されていました。コロナ後の経済回復と APEC プトラジャヤ・ビジョン 2040 (APEC Putrajaya Vision 2040) の実施に着手するなかで、APEC 参加国・地域は、機会平等の実現、機会を活かせる技能の構築、女性の経済活動への参画拡大など、さまざまな重要課題に取り組む必要があります。そして、これは民間部門との連携によって最も効果的に成し遂げられます。

第一の優先事項として、おそらく多くの人にとって在宅勤務が続く一方、人と接する仕事の最前線にいる人にとっては対面授業や対面保育などの制度的な支援体制に引き続き混乱が見られるコロナ後の世界を、女性がうまく乗り切る手助けができるよう、既存の支援制度を強化することが急務です。「ニュー・ノーマル (新常态)」の潮流は、新たな課題をもたらし、女性が利用できる既存の支援制度を企業の対応と政策の両面から強化することをわれわれに促すでしょう。女性の本格的な労働参加を促進し、家事負担の増加 (子どもの遠隔授業に関連する負担を含む) や経済的ストレス、家庭内暴力に対処する支援制度を提供することが、今後の女性の地位向上をさらに促す基盤づくりに欠かせません。

第二に、女性がデジタル経済に十分参画できるようにする必要があります。新型コロナウイルス感染症は、電子商取引とデジタル貿易の大幅な拡大、さらには電子政府サービスなど、企業やより広範な経済のデジタル化を加速させています。女性経営企業や女性の働き手がこの新たなデジタル環境のなかで成功を果たすには、新しい技能と能力を身につける必要があります。特に、フォーマル雇用・インフォーマル雇用を問わず、サービス産業など女性の働き手が圧倒的に多い業界が新型コ

新型コロナウイルス感染症のもたらした混乱によって大きな打撃を受けていることを踏まえると、これは急務です。アクセスしやすく目的に適ったデジタル技能訓練は、女性の新たな機会の創出に役立ちます。逆に、もし女性のデジタル技能やデジタル・リテラシーを高めなければ、すでに存在する男女間のデジタル格差をさらに悪化させるおそれがあり、女性をさらに置き去りにすることになりかねません。

最後に、この機会を利用して、ジェンダー包摂を促進する大規模な構造改革に早急に着手する必要があることをあらためて強調いたします。ラ・セレナ・ロードマップ（La Serena Roadmap）の実施は、資本と市場へのアクセス、（雇用機会における構造的バイアスの排除などによる）労働参加の拡大、官民両部門での女性の指導的地位へのアクセス改善、科学・技術・工学・数学（STEM：science, technology, engineering, and mathematics）分野の教育支援、その他の形態の教育や職能開発を通じて、女性のエンパワーメントを図る重要な機会です。われわれはジェンダーの視点を取り入れて、女性の仕事でのさらなる活躍を促すとともに、体系的なデータ収集やジェンダーに基づく分析の改善を通じて、揺るぎないエビデンスに基づく政策立案を進める必要があります。これらの要素への取り組みは、すべてのAPEC参加国・地域において引き続き優先されなければなりません。

課題への対応は政策立案者だけに委ねられているわけではありません。官民の連携も先に述べた分野すべてに有意義かつ永続的な変化をもたらす鍵となります。そして、ABACにはその一翼を担う覚悟と熱意があります。女性は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって不利な立場に立たされていますが、上述の対応に総力を挙げて取り組むことによって、ABACの2021年のテーマのみならず、APECプトラジャヤ・ビジョン2040に掲げられたAPEC全参加国・地域の誓約にもものをもって、われわれは失ったものを取り戻し、女性の経済的潜在能力の十分な発揮と幸福の実現に向けてより力強く前進することができると確信しています。

ABACの提言の詳細は付録に記載しています。9月にこれらについてさらに議論を交わせることを心待ちにしております。

敬具

2021年ABAC議長

Rachel Taulelei

ジェンダー包摂の向上に向けた ABAC の提言

この1年にわたる新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響により、APEC 地域の男女平等の成果は後退しています。世界中の女性がこの世界的危機の影響を過大に受けています。パンデミックによって、低賃金、公式な経済活動部門における就業機会の欠如、意思決定への参画の少なさとといった、女性がこれまで直面してきた障壁や障害の多くが一層増大しています。実際、APEC 域内では、性差別に対する最も基本的な法律さえ整備されていない国・地域が半数を超えています。男女平等の推進は、「正しい」行動であるのみならず、とてつもなく大きな経済的可能性をも秘めています。経済回復に向けたわれわれの総力を挙げた取り組みを踏まえると、ジェンダー問題への対処はこれまで以上に重要性を増しています。

女性の経済発展のための環境づくりの促進

企業と個人の継続的な成長をさらに促す環境づくりは、経済・社会の持続可能な発展の実現には欠かせません。特にコロナ後に女性がビジネスや貿易にもっと本格的に参画できるようにする政策の構築に優先して取り組むべきです。現下のパンデミックは、女性に育児や介護の責任を一身に負わせ、同等の仕事をする男性よりも低い報酬を提供し、女性が差別や暴力を受けやすい環境を常態化させている社会的枠組みによって、女性がいかに不公平な競争条件の下に置かれているかを明らかにしています。

われわれは今年の取り組みのなかで、女性が今も引き続き直面しているさまざまな課題と女性の経済参画を促すために民間部門が講じている措置の種類について、調査してきました。それによって、女性の成功には公的支援が欠かせないこと、とりわけ手頃な価格の質が高く利用しやすい保育サービス、男女の働き手が積極的な支援を受け休暇の取得を奨励される強力な家族休暇制度、ジェンダーの視点でつくられた職業訓練・再訓練プログラムや教育プログラムの提供に公的支援が果たす役割は大きいことを確認しました。われわれは APEC 参加国・地域の政策立案者に対し、既存の支援プログラムを強化し、よりのを絞ったものにするなど、ジェンダー包摂を促進する革新的な企業政策や公共政策を促す規制枠組みの構築に優先して取り組むことを奨励します。

経済の回復と繁栄の鍵となる主体としての女性の認識

APEC と ABAC は今年、資金調達へのアクセス、保健医療、教育、貿易促進策など、コロナ後の経済回復に向けた主要な戦略について議論してきました。しかし、パンデミックの渦中で女性が果たしている中心的役割や、経済と社会の回復を実現するために女性が引き続き担う重要な役割については、ほとんど語られていません。女性はアジア太平洋地域のすべての国・地域の経済的・社会的成長の鍵となる主体です。われわれは、金融支援から職業再訓練まで、経済のあらゆる側面において男女平等のさらなる実現を図る政策の重要性を強調します。ABAC は APEC 参加国・地域に対し、こうした困難な時期を乗り切るには、この地域に暮らすすべての人々の力を最大限に活かす必要があるという認識のもと、今後も引き続き男女平等を政策立案の中心に据えることを奨励します。

女性のデジタル包摂の促進

女性は新型コロナウイルス感染症による大きな影響を受けていますが、デジタル格差がその影響をさらに悪化させています。特にデジタル化が遅れた国・地域の女性には、デジタル関連の知識やツールにアクセスするためのリソースがほとんどありません。ABAC は各国・地域に対し、既存のプログラムを設計し直して、(1) 女性の教育とメンター制度の整備に向けた国際協力の強化、(2) 女性のデジタル能力構築の促進、(3) APEC のデジタル教育オンライン・プラットフォームの構築、を目的とするジェンダー問題に対応した政策とデジタルトランスフォーメーション促進プログラムを策定することにより、女性が十分かつ効果的なデジタル関連のサービスとソリューションにアクセスできる環境を整えるよう要請します。

女性の金融包摂の支援

われわれの今年の取り組みは、女性の資金へのアクセスを妨げる障壁や制限が増えていることを明らかにしました。こうした傾向が、女性経営企業の成長と発展のボトルネックになっています。ビジネスのしやすさを高めれば、非公式な経済活動部門で働くより多くの女性の公式な経済活動部門への移行を可能にし、これを促し、結果として、女性がより多くの公的企業支援制度や資金にアクセスできるようになります。ABAC は各国・地域に対し、女性経営企業の資金調達へのアクセスを制限する法的障壁を取り除くとともに、金融サービスへのアクセス拡大を図るよう要請します。

構造改革とジェンダー包摂

APEC は、「女性と包摂的成長のためのラ・セレナ・ロードマップ (La Serena Roadmap for Women and Inclusive Growth)」と APEC 経済委員会 (EC: APEC Economic Committee) の取り組みを通じて、女性の経済的エンパワーメントを促進するための構造改革に向けた対応を講じ始めています。新型コロナウイルス感染症パンデミックが女性に過大な影響を及ぼすなか、こうした対応があらためて重要になっています。特に、APEC 参加国・地域は、従業員に占める女性の割合が高い困窮した業界や、家事負担の増えた女性、経済的ストレスや家庭内暴力にさらされている女性に対して、的を絞った支援を提供すべきです。ABAC は、各国・地域経済の産業全体にわたってラ・セレナ・ロードマップの実施を加速化させ、ラ・セレナ・ロードマップに掲げる目標のうち、(1) 雇用へのアクセス、雇用の機会、雇用条件における性別に基づく差別を禁止するための法令、政策、規制を整備する、(2) 男女が平等に資金調達や融資を受けられるよう、差別のない法令、政策、規制を整備する、という目標を特に優先するよう要請します。

最後に、ABAC は、官民部門の最も高い階層における女性の存在感を高めることによって、女性リーダーの「パイプライン」を強化できると認識しています。また、数十年におよぶ調査から、企業のガバナンスと経営ならびに公的部門の指導的地位の多様性を高めることが、よりよい意思決定につながる事が明らかになっています。ABAC は APEC 参加国・地域に対し、官民両部門の指導的地位に占める女性の割合を高めるべく、積極的な措置を講じるよう要請します。